

令和 7 年笛吹市議会第 2 回定例会

令和 7 年笛吹市議会第 2 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、文部科学大臣表彰の受賞についてです。

4 月 23 日、ボランティア団体「タンタン」と石和北小学校図書館が、子どもの読書意欲を高めるための、特色ある優れた取組を実践している団体等に贈られる、文部科学大臣表彰をそれぞれ受賞しました。

ボランティア団体「タンタン」は、1995 年の発足から約 30 年にわたり、定期で実施している本の読み聞かせ、手あそび、パネルシアター、工作などの活動に加え、ハロウィーンやクリスマスなどの季節の行事に合わせてイベントを開催する等、本に触れ合う機会や本を通じた参加者のつながりを生み出してきたことが高く評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。

また、石和北小学校図書館は、朝の 10 分間読書活動をはじめ、本の貸出冊数目標の設定や、運動会や遠足などの学校行事を題材とした本の読み聞かせや P T A と連携した親子読書等、子どもたちに本の楽しさを実感してもらえるような取組が高く評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。

次に、第 20 回笛吹市桃の里マラソン大会についてです。

4 月 6 日、この大会は第 20 回の記念大会として開催され、満開の桜と桃の花が咲く中を、沿道からの声援を受けた 2,709 人のランナーが走りました。

ゲストランナーには、2024 パリオリンピックに、陸上男子マラソン日本代表として出場した大迫傑さんをお迎えしました。

大迫さんは、ハーフの部に参加され、笛吹市が誇る「日本一の桃源郷」を大勢のランナーと共に走り、その後は、ゴールでの出迎えなども行い、大会を盛り上げてくださいました。

次に、FUJIYAMA ツインテラスへの来訪状況についてです。

FUJIYAMA ツインテラスとエントランス施設「Lily Bell Hütte」は、ゴールデンウィーク期間中には 1 日当り 400 人以上の方が訪れるなど、多くの利用客で賑わいました。

また、旅行会社が企画、販売している、FUJIYAMA ツインテラスを訪れる今シーズンのツアーには、既に 1 万 1,000 人を超える予約をいただいているとのことであり、観光拠点としての知名度の広がりを感じています。

今年度は、「Lily Bell Hütte」に、高齢の方や障がいのある方に配慮したユニバーサルト

イレを設置し、更なる利便性の向上を図ります。

今後も、ますます多くの方が FUJIYAMA ツインテラスを訪れ、本市の魅力を知る契機となるよう、取組を進めていきます。

次に、笛吹みんなの広場の活用状況についてです。

笛吹みんなの広場では、令和 6 年度は、供用開始以降最多となる、77 件のイベントが開催されました。

毎月第 3 日曜日には、市民が自発的に立ち上げ、市が積極的に支援している、「ふえふきマルシェ」を開催しており、毎回約 150 店が出店し、1,000 人以上の方が来場されるなど、大変な賑わいを見せています。

また、直近では、5 月 3 日、4 日の 2 日間は、地元ワイナリーによるワインイベントが、5 月 9 日から 11 日までの 3 日間は、ビールの祭典であります「OKTOBER FEST 2025 in 笛吹みんなの広場」が開催されました。

訪れた方々は、新緑の上を渡る風を感じながら、ワインやビールと一緒に食事を楽しんだり、ステージで生演奏される音楽に耳をかたむけたりと、友人や家族と一緒に、思い思いにイベントを満喫していました。

今後も、笛吹みんなの広場において様々なイベントが開催され、多くの市民や観光客が楽しみ、地域の活性化につながるよう、取り組んでいきます。

次に、ほたる祭りの開催についてです。

6 月 14 日から 22 日まで、八代四ツ沢川砂防公園において、ほたる祭りが開催されます、稲山ほたる銀河の会の皆様が、ホテルが住める環境として整えた、公園内に整備された全長約 1 キロメートルのほたる水路の上を、大切に育てられたゲンジボタルが、淡い光を放ちながら飛び交う姿は、訪れた方を幻想の世界へと誘います。皆様にも、この光景を御覧いただきたいと思います。

次に、笛吹市こども計画の策定についてです。

本市では、第二次笛吹市総合計画に定める「ハートフルタウン笛吹～やさしさあふれるまち～」の実現に向けた様々な取組の中でも、最重要課題である人口減少に歯止めをかけるため、子育て支援施策には特に力を入れています。

令和 7 年 3 月、児童虐待や子どもの貧困、障がいがある子どもへの支援など、子ども・若者、母子等に対し、的確に支援を展開していくため、「笛吹市こども計画」を策定しました。

今後も、市の将来を担う子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えていく取組を推進していきます。

次に、第三次笛吹市総合計画及び第 3 期笛吹市総合戦略の策定についてです。

現行の総合計画及び総合戦略の計画期間が、令和 7 年度に終期を迎えることから、令和 8 年度を始期とする第三次笛吹市総合計画及び第 3 期笛吹市総合戦略を策定します。

総合計画は、これから笛吹市が目指すまちづくりの道標となるものであり、全ての計画の中でも最も重要なもののひとつです。

これまで、第二次笛吹市総合計画のもと「ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～」の実現に向けて、一步一步前進を続けてきました。

第三次笛吹市総合計画の策定に当たっては、現行計画の評価と検証を行い、総合計画審議会、市民ワークショップ、市民アンケートなどを通して、市民の皆様から幅広い御意見をいただく中で、これまでの取組の成果が実を結び、まさに飛躍のときとなるよう、笛吹市の未来を築いていく総合計画の策定を進めていきたいと考えています。

次に、生成 AI の導入についてです。

本市では、6 月 1 日から、文書案の作成や添削、資料の要約、データの集計や分類などに活用可能な、生成 AI を導入しました。

生成 AI を適切かつ積極的に活用することで業務効率化を図り、これまで内部事務に充てていた時間を、新たな施策、事業の企画立案や窓口対応の質の向上に活かすことで、市民の皆様には質の高い行政サービスを提供していきます。

次に、土砂災害訓練の実施についてです。

6 月 11 日、芦川町において、4 つの行政区を対象に、土砂災害訓練を実施します。

訓練では、県道が通行止めになった場合の集落の孤立化防止や御自身で町外に避難することができない住民の早期避難を目的として、避難情報の発令から避難者を市有バスに乗せて町外に避難するまでの、市、消防本部、消防団、行政区、社会福祉協議会、警察署の役割と避難支援について確認を行い、迅速な災害対応について理解を深めます。

令和 7 年 6 月 10 日

笛吹市長 山下 政樹